

# 滝夜叉姫

(たきやしやひめ)



この演目での姫の面は、  
鬼女面の中でも最も恐ろしい形相のもの。  
姫の怨みが込められた哀しい物語でもあります。

～あらすじ～

天慶の乱で、父平将門が討たれた五月姫は、仇を討つために都に上り鞍馬の貴船神社に願を掛け、満願の夜、ついに妖術を授かります。

五月姫は滝夜叉姫と名を改め、猿島郡岩井の地へ帰り、多くの手下を従えて謀反を企てます。

そこで、朝廷の命を請けた大宅中将光圀(おおみやのちゅうじょうみつくに)が戦いを挑みます。